

医療現場：看護部

テーマ：持ち運びが容易で安定・安心のポータブルトイレ

■ 背景

- 入院中の患者さんでトイレに行くのが困難な方や夜中のトイレが心配な方は、ベッドサイドにポータブルトイレを設置する。
- 通常は、ベッドサイドに置きっ放しにはせず、必要な時に看護師等が保管場所から必要な患者さんのベッドサイドに運び、不要となった際に、保管場所に戻すという作業が発生する。このような作業は看護師にとって肉体的負担が大きい。
- 木製のものは安定感があるが重く、軽量化すると持ち運びの肉体的な負担は軽減するが、患者さんにとって安定感・安心感が低くなる。



【病室にあるポータブルトイレ】＜出典：看護roo!＞

■ 現在の状況、対応方法

- 患者さんの状態や看護師等の負担を考え、状況にあわせて既製品の木製や樹脂製のポータブルトイレを使い分けているのが現状である。
- ベッドからの移乗などを考えると、トイレであっても椅子のようなひじ掛けがあるものが重宝している状況である。

■ 現在の課題

- 看護師等の肉体的負担が少なく、患者さんにとって安心感・安定感があるという両面の課題を十分に解決できるポータブルトイレがみあたらない。
- 既製品の中には、ひじ掛けを付けたものもあるが、安心感・安定感という課題を完全には解決していない。

■ 使用頻度や市場性(マーケットサイズ)

- ポータブルトイレレンタルの世界市場は、2027年までに252.2億米ドルに達する見込み。世界のポータブルトイレレンタル市場は、2020年には約172億7000万米ドルとなり、2021年から2027年の予測期間には7.4%以上の健全な成長率が見込まれている。

(出典：PR TIMES Inc.、Report Ocean)

■ 解決策案の例(概念のみ)

機能アイデア例

- 軽量かつ安定感がある構造・素材
- ひじ掛けがあり、不要な時には跳ね上げることが機能



■ 看護部ホームページ

<http://sumsnurse.es.shiga-med.ac.jp/>